

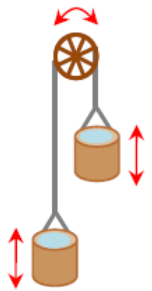
# 大山寺駅のりばご案内

1運行ごとに上り・下りの「のりば」が変わります

## 2番ホームに設置の電光掲示板と音声案内をご確認ください。



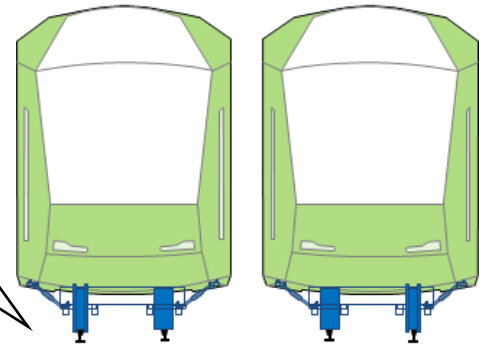
ケーブルカーの動く仕組みは、つるべ式（交走式）と言い、井戸のつるべのように1本のロープで両端の車両を上下に動かします。ケーブルカーの構造上、当駅では1回の運行ごとに上り・下りのホームが入れ替わります。



線路内にロープがある方が上り（阿夫利神社行き）

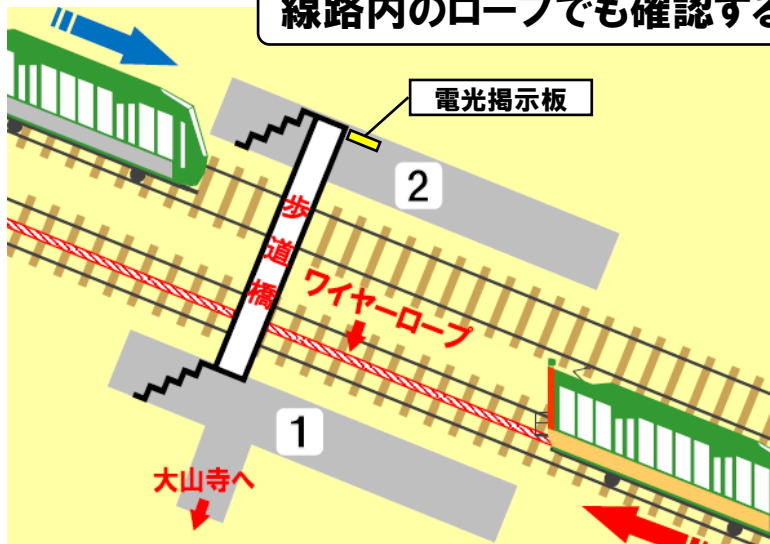
線路内にロープがない方が下り（大山ケーブル行き）となります。

車輪に秘密あり



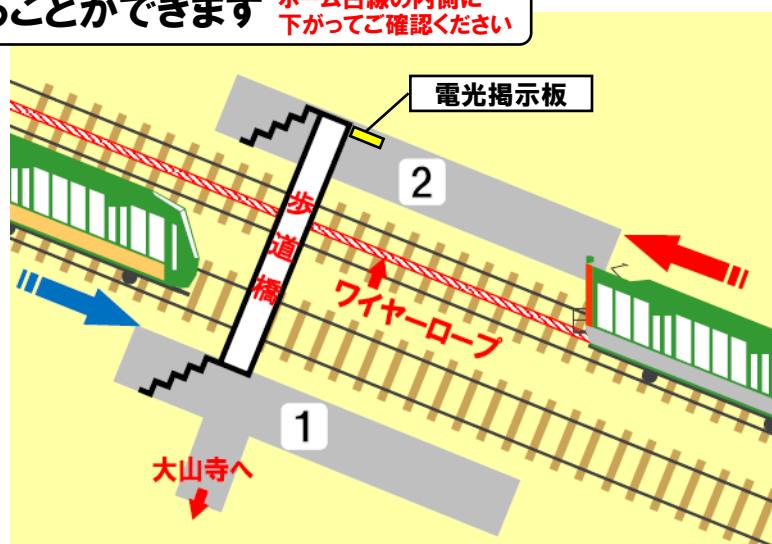
ケーブルカーの車輪構造

線路内のロープでも確認することができます ホーム白線の内側に下がってご確認ください



図のように 1番ホーム側線路内にワイヤーロープがある場合、このロープでケーブルカーを引っ張り上げますので

- 1番ホームには上り・阿夫利神社行き
- 2番ホームには下り・大山ケーブル行きが到着します。



図のように 2番ホーム側線路内にワイヤーロープがある場合、このロープでケーブルカーを引っ張り上げますので

- 1番ホームには下り・大山ケーブル行き
- 2番ホームには上り・阿夫利神社行きが到着します。